



やつしろ

第39号
平成27年
5月1日発行

平成27年3月定例会

市議会だより



平成27年3月定例会会期日程

2月23日(月)	本会議／開会
3月 2日(月)	本会議／質疑・一般質問
3月 5日(木)	
6日(金)	議会運営委員会
9日(月)	文教福祉委員会
10日(火)	経済企業委員会
11日(水)	建設環境委員会
12日(木)	総務委員会
18日(水)	本会議／討論・採決

目次

● 3月定例会	2
● 委員会報告	4
● 質疑・一般質問	6
● 特集記事	13
● 採決結果	15
● 編集後記	16

編集・文責／八代市議会広報委員会

3月定例会

GIKAI

3月定例会は、2月23日から3月18日まで開催され、条例議案23件、予算議案20件、人事議案1件、発議案1件、その他9件を審議し、議案は全て可決されました。

条例制定・改正など (主なもの)

可決

定住自立圏形成協定の締結について

※八代市と氷川町との間における定住自立圏形成協定を締結するもの。



八代市環境センターパース

契約の締結について

工 事 名：八代市環境センター建設工事
工 事 場 所：八代市港町
契 約 金 額：104億9,099万6,880円
契約相手方：日立造船株式会社

八代市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正について

※主な改正点（医療費対象者の「子ども」の範囲の変更）
平成27年度から小学6年生まで拡大
（平成26年度までは小学3年生まで）



八代市介護保険条例の一部改正について

※主な改正点（平成27年度～29年度）
・介護保険料基準額の変更
基準年額69,600円（月額5,800円）
（参考）平成24年度～26年度
基準年額64,800円（月額5,400円）
・介護保険料所得段階区分の変更
これまでの7段階から「9段階」へ



地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

※教育長と教育委員長を一本化し、教育委員長職の廃止に伴い、市長が直接任命する新教育長を設置するもの。

予算

(主なもの)

平成26年度一般会計補正予算、
平成27年度一般会計予算など

可決

平成26年度一般会計補正予算

28億5,712万円

プレミアム付商品券発行事業

- ・ 購入価格より2割お得な「八代市プレミアム商品券」を発行するもの。

14億2,734万円

財源内訳：国庫支出金 2億3,861万6千円
：商品券販売代 11億7,250万円

ふるさと名産品販売促進事業

- ・ 「ふるさと直送便」等の名産品セットを通年で企画販売し、3割引きで購入できるように補助を行うもの。

475万円

平成27年度当初予算

1,009億3,985万9千円

フードバレー流通推進事業及び輸出促進事業

- ・ 国内の流通を推進する経費及び海外流通を促進するもの。
- ◆ 八代農産物PR事業補助金
- ◆ トマトフェスタ開催補助金等



1,646万5千円

第3子以降の保育料無料化

- ・ 子育て世代の経済的負担軽減のため、同時入所のみならず、生計を同一にする子供が3人以上で、かつ第3子以降の保育料を無料化するもの。

△ 1億1,400万円 (歳入減)

龍峯地区公園整備事業

- ・ 龍峯地区に公園を新規に整備するもの。



1億6,150万円

財源内訳：
市債 1億5,340万円

クルーズ客船誘致事業

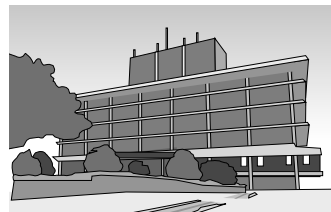
- ・ クルーズ客船寄港イベントに対して負担するもの。
(海外船10隻寄港、邦船1隻入出港分)等



2,495万4千円

市庁舎建設事業

- ・ 新庁舎建設計画基本構想策定業務委託、先進地研修旅費等に要するもの。



947万3千円

財源内訳：
国庫支出金 754万5千円

委員会報告

すべての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的ではないため、本市議会においては、四つの常任委員会に付託され審議がなされています。これらの委員会で審査・調査を行った結果は、委員長から本会議において報告が行われます。

ここでは、三月十八日に行われた常任委員会の委員長報告を抜粋して掲載いたします。

文教福祉委員会

◆平成二十七年八代市一般会計予算・いじめ対策等推進事業について

問 いじめ問題等の解決に当たっては、学校支援委員会により対応されてきたと思うが、今回、新たに八代市いじめ問題対策連絡協議会を立ち上げる理由について

答 広範囲な関係機関で情報の共有化及び連携を図ることにより、さらに効果的な対策や改善策を実施することを目的とし、本協議会を立ち上げるに至った。

◆平成二十七年八代市一般会計予算・社会福祉団体育成事業について

問 社協職員に対する人件費補助について、平成二十七年当初予算において、対前年度比で約六千万円の増額となった理由について

答 本市の財政状況等は厳しい一方、社協においては六億円の積立金としての内部留保金があったことにより、平成二十三年度から平成二十六年度まで社協に対して、補助率を三分の二としていたところである。しかし、社協の単年度収支を見ると毎年約六千万円の不足が生じており、このままでは社協の運営そのものに影響が生じるため、市の財政状況は依然厳しいものの、これまでの各種活動を今後も実施していただくということを前提に、補助率を一〇分の一〇に戻したため、増額となったものである。

経済企業委員会

◆平成二十六年八代市一般会計補正予算・プレミアム付商品券発行事業について

問 本商品券の発売日、販売場所及び一人当たりの購入限度について

答 発売日は、本年七月四日から、販売場所は、市役所本庁及び各支所等を予定しており、

本庁においては、土曜日、日曜日の販売も検討している。また、購入限度については、一人当たり十冊（千円券の十二枚綴り一冊を一万円で販売）までと考えている。

問 本商品券が利用できる店舗及び業種について

答 利用店舗として本市に登録していただく必要がある。また、原則として、利用業種に制限はないので、さまざまな業種で利用できるよう、より多くの方に登録をしていただくために、各団体等に対して、説明会を検討している。

問 商品券の販売及び有効期間について

答 短期間に経済波及効果を発揮させるため、商品券の販売及び利用期間を九月末までの三カ月間と設定している。

問 購入した商品券を有効期間内に使用できなかった場合の対応について

答 これから検討したい。

問 有効期間を延長する考えはないのか

答 三カ月間という有効期間は、集中的に、短期での消費喚起を促すという国の趣旨に基づき、市独自で設定したものであるが、他市の状況等を踏まえ検討させていただきたい。

建設環境委員会

◆八代市環境センター建設工事に係る契約の締結について

問 事業者選定委員会委員のあり方について

答 事業者選定委員会委員については、プラント、法律、経営等、各分野から広く専門性を持った方々を選任し議論をいただいた。

問 環境センター延命化に伴う二十年後の焼却灰の処分方法について

答 契約期間二十年以降の焼却灰の処分方法については、今回の落札業者より、二十年経過後についても、受け入れの相談に応じる余地はあるとの回答をいただいている。また、環境センターの施設整備基本方針の中に、長期の安定稼動と効率性に優れた施設であることを求めていることから、施設の延命化を図ることも視野にいれた場合、最終処分場の整備等も将来的な課題として残ると考えている。



問 非価格要素審査において、落札者の提案に対する、災害対策等の評価が低かったことに対する認識について、及び建設予定地の災害時液状化対策について

答 災害対策等については、本市が定める要求水準書において、建築基準法等関連規定に基づいて設計することを求めており、落札者の提案は、本市の要求を満たしており、液状化対策についても同様に、基準をクリアしている。

総務委員会

◆平成二十七年八代市一般会計予算・コンビニ交付事業

問 コンビニにおける証明書交付サービス導入後にあるものの、現在の窓口交付業務の移行割合について

答 コンビニで証明書交付サービスを受けるためには、まず、マイナンバー制度開始後、個人番号カードの交付を受ける必要がある。現在、市内に住所を有し、本人の身分証明として使用できる住民基本台帳カードが約三千枚、本庁舎、守衛室前の自動交付機で利用できる八代市証明書交付カードが約五万枚交付されている。その内、交付枚数の多い八代市証明書交付カード保有者を主に、個人番

号カードへ変更していただこうと考えている。このカードが普及することにより、現在の窓口で交付している各証明書の約三割がコンビニでの交付に移行するのではないかと考えている。しかし、まだ事業未実施であるため、個人番号カードがどの程度、普及するのかが不明な状況なので、なるべく多くの方に利用していただけるよう、広報等により周知の必要がある。

問 コンビニ交付の利用状況によっては、窓口での業務量に変動が生じてくると考えられるが、どのように考えているのか

答 今後、総合窓口の導入により、さまざまな面で事務が、さらに複雑になるため、コンビニ交付により窓口業務量が減少した分に対応していきたいと考えている。



質 疑

一 般 質 問



議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、3月2日から5日までの4日間、20人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。

主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。

行政関連



上村 哲三

質問通告

○老朽化した社会教育センター施設について
○固定資産税について

◆固定資産税について

問 平成二十七年度から税率を一・六%に戻すこととした経緯及び背景について伺う。また、合併後の固定資産評価がえによる影響を平成十八年を基準として、率、額についての具体例について問う。あわせて平成二十七年度の評価がえによる予測影響額とそれに伴う見込み増減額について伺う。

答 総務部長 一・六%が合併協定の決定事項であったこと。社会保障経費が増大傾向にあること。平成二十七年度評価がえで評価額の下落が見込まれることなどから平成二十七年度からとした。評価がえの影響を平成十八年度と二十六年度の税率が同じ一・五%であったとして比較すると約六億九千万円、率にして約九%の減少となる。平成二十七年度評価がえでは、土地約五千万円、家屋約一億九千万円減少するが、税率改定等による増加分との通算では約三億円の増額を見込んでいる。

質問通告

○八代・天草架橋建設促進について



堀口 晃

◆八代・天草架橋建設促進について

問 平成元年に県南地域及び天草地域の十八市町村で組織する八代・天草架橋建設促進期成会が発足し、二十七年が経過しようとしている。平成二十三年度に架橋建設に向けた調査において、国が基準としている費用便益比が一・〇を下回り、事業の妥当性がないことが判明。建設促進に向けた課題は山積していると思うが、今後どのように取り組むのか問う。

答 市長・企画振興部長 架橋建設促進上の課題としては、費用便益比の値及び官民連携の手法導入上、道路法等の改正が必要となるという点。このような高いハードルを越えなければ架橋の実現は困難であることから、便益の算定基準の見直しや規制の緩和など法改正に向けて、県議会・市議会議員連盟や民間期成会の協力を得ながら国や県への提案、要望を通じ建設の実現性を高められるよう架橋の必要性を訴え続けてまいりたい。また、地域の盛り上がりが必要であれば次の一歩は進められない。



中村 和美

質問通告

- 北海市交流事業について
- 二見自然の森について
- 市営住宅について

◆北海市交流事業について

問 北海市とは、約二十年近く友好都市として交流が続いている。平成二十七年予算に交流事業費として約二百七十八万円が計上されている。目的としては、中学生のスポーツ大会やホームステイ等による交流が目につくが、他に北海市とどのような交流事業があるのか、また、北海市経済界と本市経済団体との交流について伺う。

答 企画振興部長

平成八年に北海市と友好都市関係を締結して以降、教育交流や経済交流、文化交流並びに行政関係者による交流など、これまで六十一回に及ぶ交流を行っており、次世代を担う子供たちの健全育成に寄与するとともに、市民レベルでの国際親善、国際交流の場となっている。

また、北海市との経済交流は平成二十三年度を最後に中断しているが、平成二十八年度の友好都市締結二十周年を機に、経済団体を含むさまざまな方面での交流のあり方について検討していきたい。



幸村 香代子

質問通告

- 市職員のセクハラ行為について
- 職員研修事業について
- 松中信彦スポーツミュージアムについて

◆市職員のセクハラ行為について

問 過去にもセクハラ事案が発生しており、今回の職員については二度目である。新たな防止策と、全職員を対象にハラスメント行為のアンケート調査を行う必要があると思うが、考えを問う。

答 総務部長

各職場単位での意見交換等により、現状を把握し、課題を抽出する。その課題の解決に向けたセクシュアル・ハラスメントの再発防止のための行動計画を作成し、取り組み状況を毎年点検していく。全体アンケートは人権に関する市職員意識調査を予定しており、その中に、ハラスメントに関する質問を盛り込む。

問 再発を防止できなかった市長の責任は重いと考える。市長みずからの責任はどうとるのか。

答 市長

責任の重大さを痛感している。今後は、私みずからが全職員の先頭に立って再発防止に取り組むことで責任を果たしていきたいと考える。



前垣 信三

質問通告

- 新庁舎建設について
- 合併特例債について
- 子供医療費の無料化について

◆新庁舎建設について

問 新庁舎計画の規模、算定根拠を問う。

答 総務部長

検討時の職員数六百五十四人に職員一人当たり三十平方メートルを掛けた一万九千六百二十平方メートルに、参考自治体の建設平均単価三十四万円を掛けた六十八億円、さらに、外構・解体・引越し費用を加えた七十八億円とした。

問

現在の職員数が千名を超えるのに六百五十四名の根拠、一人当たりの面積（現在約十七平方メートル）が理解できない。千丁・鏡支所の面積と建設年度、耐震診断の有無を問う。

答 総務部長

千丁は、平成五年で三千六百二平方メートル、鏡は、昭和五十六年で三千六百九十一平方メートル。いずれも築年度から耐震基準を満たしていて、耐震診断不要の建物である。

問 地域再生のために支所への大胆な分庁をすべきである。千丁・鏡支所の将来的展望を問う。

答 総務部長

手狭な教育委員会を一時的に集約したが、それぞれの支所は、地域の特性に合った地域づくりの拠点としたい。



西濱 和博

質問通告

- 障害者優先調達推進法の施行に伴う障害者就労施設等からの物品等の優先調達の取り組みについて
- 本市の各部署で締結される随意契約の潜在的課題の顕在化と今後の対応について
- 社会情勢の変化と時代の潮流に対応する新たなブランド戦略について

◆本市の各部署で締結される随意契約の潜在的課題の顕在化と今後の対応について

問 市各部署で締結する随意契約には、物品や役務等さまざまながあるが過去の契約実績を問う。

答 **総務部長** 発注が多い印刷製本の過去四年度にわたる調査結果として、見積もり合わせ件数約六百件の市内指名業者十四者の選定状況は、二者が約五十%、一者が約三十五%、一者が約二十五%、四者が約十五%、六者がそれ以下であり、一部の部署で固定化し偏りが見られた。

問 受注の機会の均衡が損なわれている。契約とは本来どうあるべきか、契約の原則を問う。

答 **総務部長** 契約手続の透明性、公正性、競争性及び履行の確保を図る事であると認識している。

問 業者選定の潜在的課題、盲点が顕在化した。一部部署で業者の固定化が長く続いていたのはなぜか、原因分析と改善策について問う。

答 **総務部長** 前年度を踏襲する傾向が主な原因であり、これまでの全庁的な周知や注意喚起に加え、職員研修等を行い具体的な選考方法を示し、改善を図ってまいりたい。



島田 一己

質問通告

- 学校教育について
- 本市の公共交通について
- 宮農支援室について

◆本市の公共交通について

問 今後、高齢化社会を迎えるにあたり、運転免許証の自主返納などにより自分で運転できない方がふえ、先々の公共交通に対するニーズは高まり、その役割も重要になってくると思われる。現在、八代市地域公共交通網形成計画の策定が進められているが、その計画策定の中で挙げられている、路線バス、乗り合いタクシーの課題と対策について問う。

答 **企画振興部長** 現在、策定を進めている八代市地域公共交通網形成計画においては、路線バス、乗合タクシーの課題を踏まえた対策として、運行形態の変更も含めた路線再編や運行ルート見直しによる新たな需要の掘り起こしなどの改善を行う予定である。また、公共交通を身近に感じ、利用するきっかけの提供が重要であるため、今後、広報紙や市ホームページでの情報発信や出前講座、企業・学校・転入者を対象とした啓発活動等利用促進につながる取り組みを行っていく。



亀田 英雄

質問通告

- 定住自立圏構想について
- 地方創生について
- 平成二十七年当初予算について

◆平成二十七年当初予算について

問 二十七年予算は一千億円を超え、合併後最高額となる。本市の経済状況が好転するような施策を展開したいという気持ちのあらわれかと思うが、交付税の減額もある中で財政の規律が維持されているのか危惧する。一般財源の削減は達成できなかったが、市債と公債費の関係はどのようになっているか伺う。

答 **総務部長** 当初予算の段階ではわずかであるが、借金は返済金を上回らないという原則は堅持したものの厳しい財政状況である。

問 最近の予算の特徴で、実質的な二十七年予算算は、これから提案される補正予算を合計したものになる。財政の規律が堅持できない状況であり、大型の出費の前に財政状況は硬直状態であると推察するが、今後の見解を問う。

答 **総務部長** 身の丈に合った歳出規模が必要不可欠であり事業の峻別化を図り、新たな財源の開拓など歳入の確保に努め、持続可能な財政運営を行っていく必要がある。

教育関連



鈴木田 幸一

質問通告

- 鏡西部小学校について
- 母子会について
- 組織機構改革について

◆鏡西部小学校について

問 鏡西部小学校について八代市立学校統合等審議会から、平成二十八年度末をもって閉校し、鏡町内の小学校への統合が望ましいとの答申がなされたが、地元住民から激しい反対の声が上がっている。これは、説明会の時期が農繁期で参加者が少なかったことや説明内容が十分に理解されていなかったことなどが原因だと思われる。そこで、今後の対応を問う。

答 教育部長

平成二十六年十二月十八日の答申を受けて、現在、教育委員会で審議されている。具体的取り組み内容の案ができた時点で、地元説明会及びパブリックコメントを実施予定であり、いただいた御意見について丁寧な説明を心がけて進めてまいりたい。なお、これまでに保護者や地元の方々からいただいた熱い思いは十分に受け止めている。その上で、子供たちが等しく望ましい教育を受けける機会を得るための、より良い教育環境づくりのために議論を尽くしてまいりたい。



橋本 隆一

質問通告

- 本市における食育について
- 難病制度の改正について
- 生活困窮者自立支援事業について

◆本市における食育について

問 平成二十年三月、本市においては、八代市食育推進計画の策定がなされている。計画実施後の総括及び食育推進の課題と今後の取り組みについて問う。また、小中学校における食育の考え方と取り組み並びに食物アレルギーや偏食傾向にある児童生徒への支援について問う。

答 農林水産部長・教育部長

計画では、食育推進等について三十七項目の達成目標を定めているが目標達成に至らない項目も見受けられるので今後関係機関と連携しながら対応策について検討していく。小中学校では食に関する指導目標の達成に向け、食に関する体験活動、保護者等への啓発、栄養教諭等による食に関する指導等に取り組んでいる。食物アレルギーや偏食傾向にある児童生徒については保護者と密に連絡を取り安全な給食を提供したり心身の健康等に関して助言等を行ったりしている。



松永 純一

質問通告

- 平成二十七年八代市一般会計予算について
- 八代市地域公共交通網形成計画について
- 登山客の誘致による観光振興について
- スクールバスの更新について
- 八代市まち・ひと・しごとプランについて

◆スクールバスの更新について

問 泉小中学校スクールバス一号車は、老朽化が著しく故障も発生していると聞いているが、その現状と補助制度について伺う。

答 教育部長

当該車両は、平成九年購入以来十七年半が経過し約二十三万キロメートル走行、エアコンやマフラー等の故障が発生している。補助制度については、国のへき地教育振興法の規定に基づき、上限二百五十万円の補助がある。

問 更新についての基準は設けてあるのか。また、当該車両の更新予定について問う。

答 教育部長

更新の基準は設けていない。個々の車両の状態によって判断している。更新の予定については、関係部署との協議の上検討したい。

問 平成二十七年国に対し補助を申請し、補正予算で対応する考えはないか伺う。

答 教育部長

当面の運行に支障はないので、当初予算には計上していない。補正予算での対応もなじまないもので二十八年度中に更新できるように所要の手続きをとりたい。



野崎 伸也

質問通告

○教育・子育て支援に伴う八代愛について
○定住自立圏構想について
○市に必要な観光港整備における加賀島の活用について

◆教育・子育て支援に伴う八代愛について

問 市長が所信で、教育・子育てに関し発した八代愛とはいかなるものか伺う。

答 市長 一般的には郷土愛だが、八代への愛をより強く持っていたきたいとの思いがある。

問 子供の八代愛醸成には、市民全体で子育てするとの理念が必要で、所得等による教育格差があつてはいけない。議会からは教育費の一割確保を要望し続けているが未達だ。子供への投資は、八代愛の醸成含め自治体や国の存続発展に大きく寄与することを踏まえ積極的に取り組んでもらいたい。そこで、塾やさまざまな学びに使えるクーポン券支給事業の導入や各種スポーツ大会出場奨励事業の拡充が必要と思うが見解を伺う。

答 教育部長・市民協働部長 教育格差是正に就学援助を行っている。国や他自治体の動向を見て必要あれば協議する。スポーツ大会出場奨励事業は、選手や監督の意見を踏まえ平成二十七年増額したが、利用者の声を把握しさらなる拡充について検討したい。

経済関連



友枝 和明

質問通告

○パトリア千丁温泉施設について
○新牟田西牟田線道路改良事業について
○農地中間管理事業について
○九州国際スリーデーマーチについて
○クルーズ客船の受け入れ体制について

◆クルーズ客船の受け入れ体制について

問 クルーズ客船誘致の最終目的である定期的寄港につなげるには、乗客、乗務員に満足してもらえるおもてなしが重要と考えるが、一方で寄港回数がかかることで、これまで行っているさまざまなサービスを維持できるのか不安もある。今後のクルーズ客船の受け入れについて、どのような体制で臨むのか考えを問う。

答 商工観光部長 現在の受け入れ体制は維持しながら、岸壁周辺での催しが困難な場合には、中心市街地での開催や地域イベントとの連携を図るなど対応していきたい。また、これまで以上に県、県南自治体及び経済団体と連携し、おもてなしの質を落とすことなくサービス向上に努めていく。あわせて、八代港の特徴であり、好評を得ている市民総出のお見送りを維持するためのクルーズサポーター制度の導入を前向きに検討していく。



大倉 裕一

質問通告

○平成二十七年八代市一般会計当初予算について
○本市におけるまち・ひと・しごと総合戦略と地方創生について
○雇用と企業誘致について
○都市計画区域内における狭隘道路の対応状況について

◆雇用と企業誘致について

問 本雇用は、市民生活を安定させ、夢や希望を持って生活できる源である。一人でも多くの求職者や卒業予定者の雇用が創出され、就職へと結ぶことが必要である。また、人材の流出防止やリターン者等の対策も極めて重要である。雇用の取り組みに対する行政の役割を伺う。また、平成二十六年度の企業誘致の評価と課題、次年度の戦略と目標を伺う。

答 商工観光部長 就労の場の安定確保は市民生活の向上や定住促進につながると認識しており、関係機関と連携した施策を実施している。雇用では、有効求人倍率は高い水準で推移しており、企業誘致では、製造業等八社の増設が決定、雇用も百八十名が予定され、一定の評価をしている。企業誘致には、受け皿が必要であるが、受け皿である工業用地の残地も少なくなっていることから、その受け皿づくりが課題となっている。次年度は、企業誘致と並行して、候補地の絞り込みを行う。



山本 幸廣

質問通告

- 新庁舎建設のスケジュールと予算について
- ふるさと納税事業について
- トマト黄化葉巻病対策について
- 植柳新町二丁目周辺における雨水対策について

◆トマト黄化葉巻病対策について

問 トマト黄化葉巻病が八代地域に発生して十数年。その後、生産者を初め各関係団体とJA、市、県、国が連携し、徹底的な管理防除で年々減少しつつあるが、毎年三%から一〇%の被害が発生している。対策の上で、粘着黄色板、防虫ネットは必要不可欠である。しかし、対策に伴う補助が、平成二十七年度当初予算には計上されていない。市の見解を問う。

答 農林水産部長

トマト育苗圃での粘着シート設置経費補助とあわせて、六月から二カ月間のトマト栽培自粛期間でのトマト残渣の蒸し込みや残存コナジラミの封じ込め殺虫の徹底、河川敷等での一斉除草や家庭菜園での防除を呼びかけ、近年の発生状況は四から七%と低調で、本年産の定植後の発生率は一%未満であることから、本事業は一定の成果があったと判断した。今後は、病気発生の特徴や要因を分析し、より効果的な対策について、生産者団体と検討を進めてまいりたい。



中山 諭扶哉

質問通告

- 日奈久埋立地について
- 妙見祭について
- ふるさと納税について
- 定住自立圏構想について

◆妙見祭について

問 妙見祭神幸行列のユネスコ無形文化遺産登録に向け、現在の取り組みと課題について問う。

答 市民協働部長

政府は平成二十七年三月に再度提案を行う運びであり早ければ来年秋ごろ登録されるものと期待している。出し物の修理・修復及び後継者育成を課題と認識している。

問

後継者育成についての取り組みを問う。

答 市民協働部長

出し物の担い手確保のため、ちびっこ妙見祭や出し物体験教室を行っており、直接見て触れて体験することで、行列に参加していただくきっかけにしている。さらに学校から一般まで幅広く妙見祭出前講座も行い、市民の皆様への周知と意識啓発を行っている。

問

文化遺産登録後の展望と活用について問う。

答 市民協働部長

妙見祭の魅力を国内外に発信することで、さらなる観光客の増加が見込まれ、経済の活性化が期待される。また、リピーターをふやし、市民と観光客の交流を深めてまいりたい。



堀 徹男

質問通告

- 市内城跡保存管理事業について
- 消防費について
- 消防団を中核とした地域防災力の充実強化について

◆市内城跡保存管理事業について

問 平成二十六年三月に八代城跡群、古麓城跡、麦島城跡及び八代城跡が国の史跡に指定されて一年が経過した。今回、八代城跡群保存管理計画が策定されることとなっているが、その時期と内容について伺う。

答 市民協働部長

平成二十七年年度から二十九年度の三年間を計画期間としている。一年目に石垣や堀、占有物等の現況調査や周辺の人口・交通や土地利用等、保存管理上の課題を検討し、二年目はそのデータや資料をもとに基礎図面等を作成しながら各城跡のゾーンの設定案の作成等を行う。三年目に保存管理に係る基本方針案を策定し計画書として刊行する予定である。

問

文化財保護と観光資源としての活用の両立はできるのかについて伺う。

答 市民協働部長

保存と活用は両輪であり、保存に影響のない範囲での活用は大変重要だと認識している。今後も歴史と文化の薫りと趣を感じられるよう整備をしてまいる。

福祉関連



笹本 サエ子

質問通告

○二〇一五年度国の社会保障予算の削減と本市への影響について
○地域住民生活等緊急支援のための交付金について
○国の財源措置を活用した国保税の引き下げについて

◆地域住民生活等緊急支援のための交付金について

問 政府は、地方創生の予算措置として、補正予算に新交付金四千二百億円を計上。一月三十日の衆議院総務委員会、住宅リフォーム助成事業が対象になるか議論。平副大臣は「今回、対象にすることは差し支えない。」と答弁された。本市は新交付金を活用し、経済波及効果の高い住宅リフォーム助成事業を実施すべきと考えるが、本市の考えを問う。

答 商工観光部長

交付金事業を活用するに当たり、新たなリフォーム助成制度創設の可能性について関係各課と協議を重ねた。しかし、交付金活用では一時的な対策になり継続性が担保されないこと、同事業の趣旨が広く薄く消費を喚起することを目的としており、公平性の観点からも特定の者に高額の助成をする制度設計は推奨されないことから、多くの人が恩恵を受けられ、消費喚起効果が大きいプレミアム商品券事業へ一本化することにした。使いやすさに配慮していきたい。

建設関連



田方 芳信

質問通告

○空き家バンク事業について
○クルーズ客船誘致事業について
○南部幹線道路の現状と今後の見通しについて
○畳表の消費拡大について

◆空き家バンク事業について

問 本市も少子高齢化等の影響で年々人口が減少し、空き家もふえていると思う。最近、近隣の一人暮らしの老人が施設に入り空き家になっているようだ。このようなケースがふえているのではないか。そこで、空き家対策の一環で、平成二十六年度と二十七年に空き家の調査をしているが、空き家バンク事業の具体的な内容について問う。

答 建設部長

移住定住を促進する一つの手段として、平成二十八年度に空き家バンクを設置するため、平成二十七年まで空き家の調査を実施する。平成二十八年度には、簡単な補修等で賃貸や売買できそうな空き家の所有者等に賃貸や売買の意向を調査し、登録申請していただく。同様に賃貸や売買で居住を考えている県内外の希望者を募り、利用希望者として登録する。利用したい物件があれば、当事者同士が交渉の末、契約となる。補修等の支援策も、今後検討する。

問 胃がんリスク検診とは採血による検査法で、ピロリ菌感染の有無と胃の粘膜萎縮の程度を測定し、胃がんになりやすい段階を四つに分類する検診法である。この検診法によりピロリ菌の除菌ができ、胃がんになりやすいリスクが、三割から五割減るとされ、胃潰瘍においては八割が予防できるとされる。この検診法を早速導入すべきと考えるが、見解を問う。

答 健康福祉部長

ピロリ菌は胃がん、胃潰瘍等の発症に関わる要因の一つと考えられており、現在、国においてもピロリ菌検査も含めたがん検診の有効性について評価が行われている。平成二十七年八月を目途に報告書が取りまとめられ、国のがん検診指針改正に反映されると伺っている。本市としては、国の動向を注視しながら、他市の情報収集に努め、ピロリ菌検査など新たな予防策も視野に入れながら、本市の胃がん検診の方向性について検討していきたい。

議会運営委員会 管外行政視察の 報告

◎日程 平成27年1月20日(火)～22日(木)

委員 山本 幸廣(委員長)
鈴木田幸一(副委員長)
亀田 英雄 中村 和美
成松由紀夫 野崎 伸也
福嶋 安德 古嶋 津義
前垣 信三
議長 橋本 幸一



調査事項

◎ 議会改革の現在の取り組み状況について

丸亀市(香川県)

市勢の概要

人口11万人、面積111.78k㎡ 香川県第2の都市
財政力指数：0.71 議員定数：27人(現員数26人)

議会基本条例：平成22年12月議会で議会改革特別委員会を設置
平成24年3月制定 平成24年4月1日施行

議会報告会：平成24年5月から9回開催 延べ822名参加

議会質問形式：一問一答方式(答弁時間を含め60分以内、質問回数制限なし)
又は一括質問・一括答弁方式(発言時間20分以内、質問回数
2回以内)

西条市(愛媛県)

市勢の概要

人口10万9千人、面積509.98k㎡ 愛媛県第4の都市
財政力指数：0.72 議員定数：30人(現員数29人)

議会基本条例：なし

議会活性化特別委員会：平成26年12月議会において設置

議会質問形式：一括質問・一括答弁方式(発言時間30分以内、質問
回数3回以内)

※調査事項は、丸亀市と同じ

調査事項

◎ 開かれた議会への取り組みについて

新居浜市(愛媛県)

市勢の概要

人口11万9千人、面積234.46k㎡
愛媛県第3の都市
財政力指数：0.74
議員定数：26人(現員数26人)

議会基本条例：平成25年3月制定 平成25年4月1日施行

議会報告会：平成25年11月から2回開催 延べ162名参加

議会質問形式：一問一答方式
(発言時間30分以内、質問回数制限なし)



文教福祉委員会 管内視察の 報告

◎日程 平成27年1月28日(水)

委 員	中村 和美(委員長)	西濱 和博(副委員長)
	友枝 和明	橋本 隆一
	堀口 晃	堀 徹男
		村川 清則
		百田 隆

調査事項 ◎ 教育・福祉に関する諸問題の調査について



鏡西部小学校
(現児童数40人)



八千把小学校
浜分校(同13人)



金剛小学校
敷川内分校(同15人)

◎八代市立学校の規模適正化についての答申に関連し、3校の現状を聞き、現地調査を行った。



中部学校給食
センター(調理場)



当日のメニュー



給食の試食

◎中部学校給食センター(島田町)にて現地調査を実施し、その後、実際に提供されている給食の試食を行った。



こどもプラザわくわく
(イオン八代2階)



現地での説明



こどもプラザわくわく
(マックスバリュ2階)

◎平日にもかかわらず、2施設とも多くの親子に利用されていた。

総務委員会 管内視察の 報告

◎日程 平成27年1月13日(火)

委 員	福嶋 安徳(委員長)	鈴木田幸一(副委員長)
	上村 哲三	島田 一己
	橋本 幸一	中山諭扶哉
		矢本 善彦

調査事項

◎ 新庁舎建設候補地の現地視察について

調査内容

地域審議会からの答申された候補地及び地域からの要望書を踏まえ、建設候補地を視察した。その後、総務委員会を開催し、本庁舎北側八代東高校グラウンド跡地を含む現在の市役所敷地を建設地に選定した。



本庁舎建設候補地

平成27年3月定例会採決結果

〔全会一致で可決した議案〕

議案番号	議 案 名
議案第 1 号	平成26年度八代市一般会計補正予算・第11号
議案第 2 号	平成26年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第3号
議案第 3 号	平成26年度八代市介護保険特別会計補正予算・第4号
議案第 4 号	平成26年度八代市簡易水道事業特別会計補正予算・第2号
議案第 5 号	平成26年度八代市椎原財産区特別会計補正予算・第1号
議案第 7 号	平成27年度八代市国民健康保険特別会計予算
議案第 8 号	平成27年度八代市後期高齢者医療特別会計予算
議案第10号	平成27年度八代市簡易水道事業特別会計予算
議案第11号	平成27年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計予算
議案第12号	平成27年度八代市浄化槽市町村整備推進事業特別会計予算
議案第13号	平成27年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計予算
議案第14号	平成27年度八代市診療所特別会計予算
議案第15号	平成27年度八代市久連子財産区特別会計予算
議案第16号	平成27年度八代市椎原財産区特別会計予算
議案第17号	平成27年度八代市水道事業会計予算
議案第18号	平成27年度八代市病院事業会計予算
議案第19号	平成27年度八代市下水道事業会計予算
議案第20号	専決処分の報告及びその承認について (平成26年度八代市一般会計補正予算・第9号)
議案第21号	専決処分の報告及びその承認について (平成26年度八代市一般会計補正予算・第10号)
議案第23号	新市建設計画の変更について
議案第24号	財産の無償譲渡について
議案第25号	契約の締結について（八代市環境センター建設工事）
議案第26号	公の施設を長期かつ独占的に利用させることについて
議案第27号	八代市議会の議決すべき事件を定める条例の制定について

議案番号	議 案 名
議案第28号	八代市移動通信用鉄塔条例の一部改正について
議案第29号	八代市移動通信用鉄塔施設整備事業分担金徴収条例の一部改正について
議案第30号	八代市行政手続条例の一部改正について
議案第31号	八代市個人情報保護条例及び八代市情報公開条例の一部改正について
議案第32号	八代市行政財産使用料条例の一部改正について
議案第33号	八代市手数料条例の一部改正について
議案第34号	八代市建築基準条例の一部改正について
議案第35号	八代市特定用途制限地域における建築物等の用途の制限に関する条例の一部改正について
議案第36号	八代市特別用途地区建築条例の一部改正について
議案第37号	八代市こども医療費の助成に関する条例の一部改正について
議案第38号	八代市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の制定について
議案第41号	八代市坂本地域福祉センター条例等の一部改正について
議案第42号	八代市千丁地域福祉保健センター条例の一部改正について
議案第43号	八代市泉地域福祉センター条例の一部改正について
議案第44号	八代市立椎原診療所条例の一部改正について
議案第45号	八代市立下岳診療所条例の一部改正について
議案第46号	八代市立泉歯科診療所条例の一部改正について
議案第47号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
議案第48号	八代市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について
議案第49号	八代市農村運動広場条例の一部改正について
議案第50号	平成26年度八代市一般会計補正予算・第12号
議案第52号	教育長の任命につき同意を求めることについて (北岡 博氏)
発議案第1号	八代市議会委員会条例の一部を改正する条例案

〔賛成多数で可決した議案〕

議案番号	議 案 名	橋本幸一	百田隆信	田川芳則	村川清則	成松由紀夫	福島安徳	前川祥子	友枝和明	上村哲三	山本幸廣	松永純一	鈴木田幸一	増田一喜	中村和美	前垣信三	古嶋津義	庄野末藏	田中安	幸村香代子	中山諭扶哉	堀徹男	矢本善彦	島田一己	野崎伸也	大倉裕一	亀田英雄	笹本サエ子	橋本隆一	太田広則	西濱和博	堀口晃	村上光則
議案第 6号	平成27年度八代市一般会計予算	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第 9号	平成27年度八代市介護保険特別会計予算	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第22号	定住自立圏形成協定の締結について	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	八代市介護保険条例の一部改正について	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第40号	八代市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正について	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第51号	公有水面埋立免許に対する意見を述べることについて	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
請願第 1号	鏡西部小学校存続について	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○
○＝賛成 ×＝反対 －＝議長及び欠席者 除＝除斥（規定により採決に加われない） ※橋本幸一議員は議長のため採決には加わっておりません																																	

経済企業委員会 管内視察の 報告

◎日程 平成27年1月27日(火)～28日(水)

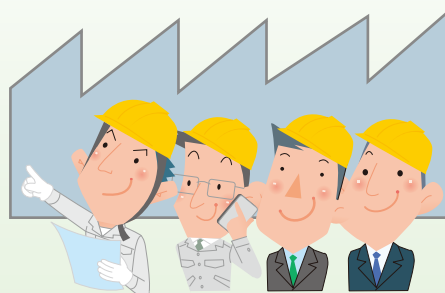
委員	増田 一喜(委員長)
	野崎 伸也(副委員長)
	亀田 英雄 笹本サエ子
	田方 芳信 前垣 信三
	松永 純一 村上 光則

調査事項

市内各企業の現状と事業内容について、2日間にわたり、調査(視察)を行った。また、調査においては、各企業より、事業の内容・特色などの説明があり、その後、事業に伴う各種製造工程等の視察を行った。

視察先

- ◆YKKAP(株)九州事業所
- ◆ヤマハ熊本プロダクツ(株)
- ◆興人フィルム&ケミカルズ(株)八代工場
- ◆日本製紙(株)八代工場
- ◆KJケミカルズ(株)八代工場
- ◆日本マイクロバイオファーマ(株)八代工場
(順不同)



手話通訳による傍聴について

八代市議会では、本会議(議場内)において
聴覚障がい者の方への手話通訳を行っております。

※事前に申し込みが必要ですので、傍聴希望日の
3日前までに、議会事務局へお申し込みください。



編集後記

風薫る五月、澄みきった青空に
悠々と泳ぐこいのぼりはこの季節
の風物詩ですが、最近その数が少
なくなっただけに感じるの、少
子化傾向だからでしょうか。やは
り地方創生の風に乗れ、安心して
子供を産み、育てることができ
るまちづくりを進めていかなければ
ならないと考えております。

今号より紙面が変わりました。
他市の議会広報紙なども参考に何
度も検討を重ね、この様式にな
りました。今後も市民の皆様にお愛
読いただけるよう、より読みやす
く、さらに充実した議会だよりを
目指し、努力してまいります。御
意見などお聞かせいただければ幸
いです。

これから夏に向かい、台風など
災害の起きやすい季節になりま
す。御自愛の上、万全の備えによ
り穏やかにお過ごしいただきます
よう、お願いいたします。

八代市議会広報委員会

◎本紙に関する御意見・御要望はこちらまで TEL 32-5984・FAX 33-4440
市役所ホームページアドレス <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/>

